

朝日インテック株式会社
代表取締役社長 CEO 宮田 憲次
フィルムメック株式会社
代表取締役社長 加藤 忠和
朝日インテック J セールス株式会社
代表取締役社長 青木 謙吉

リードロックングスタイレット「Filmecc ロッキングデバイス」の 国内製造販売承認を取得

— 当社グループ初の不整脈領域製品として、4 つのコアテクノロジーを活かしリード拔去治療領域へ参入 —

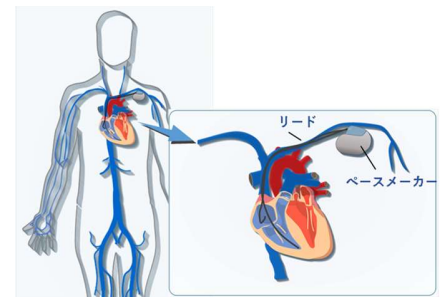
朝日インテック株式会社（本社：愛知県瀬戸市、代表取締役社長 CEO：宮田 憲次、以下「朝日インテック」）、フィルムメック株式会社（本社：愛知県瀬戸市、代表取締役社長：加藤 忠和、以下「フィルムメック」）および朝日インテック J セールス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：青木 謙吉、以下「J セールス」）は、フィルムメックが製造販売元となるリードロックングスタイレット「販売名：Filmecc ロッキングデバイス」（以下「本製品」）について、2026 年 8 月 21 日付で国内製造販売承認（製造承認番号：30800BZX00207000）を取得したことをお知らせします。本製品は、2026 年 10 月 1 日保険適用となり、J セールスを通じて国内販売を開始する予定です。

本製品は、朝日インテックグループとして初めて不整脈領域に投入する医療機器です。リード拔去を専門とする東京女子医科大学 循環器内科学講座 特任教授 庄田 守男先生と共同開発し、臨床現場で認識されてきたリード固定、牽引時の安定性、操作性等の課題に着目して設計しました。リード拔去手技における安定した牽引操作を支援し、より安全な手技の実現に貢献することを目指します。

1. 「リード拔去」とは

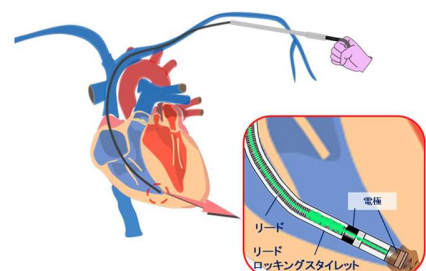
ペースメーカや植込み型除細動器（ICD）などの植込み型心臓電気デバイスは、胸部に植え込む本体と心臓をつなぐ細い電線（リード）を、血管内から心臓まで留置して使用します。感染、リードの断線・機能不良、治療システムの変更、静脈の閉塞等により、留置済みのリードを体内から取り除く必要が生じることがあります。この処置を「リード拔去」といいます。

長期間留置されたリードは、血管壁や心臓の組織と癒着している場合があります。単純に引くだけでは拔去できないことがあります。そのため、リードを内側から固定する器具や、癒着を剥離するシースなどの専用デバイスを用い、十分な経験を有する医療チームが慎重に手技を行います。



2. リードロックングスタイレットの役割

リードロックングスタイレットは、拔去対象となるリード内部の空洞（内腔）に挿入し、リードを内側から固定する細径の医療機器です。医師が手で加える牽引力をリードの遠位側まで伝え、リード全体を一体として操作しやすくすることで、拔去手技を補助します。



3. 本製品の開発背景と特長

本製品は、庄田 守男特任教授がリード抜去治療の臨床現場で認識してきた課題と、フィルメックおよび朝日インテックグループが培ってきたワイヤーフォーミング、トルク伝達、微細加工等の技術を組み合わせて開発しました。共同開発では、抜去対象リードの状態が症例ごとに異なることを踏まえ、固定操作の確実性、牽引時の安定性、手技中の取り回しを重視しました。

本製品を起点として今後展開するリード抜去デバイス製品群は、製品ごとの要求特性に応じて、朝日インテックグループが保有する「伸線技術」「ワイヤーフォーミング技術」「トルク技術」「樹脂コーティング技術」の 4 つのコアテクノロジーを複合的に活用できる領域です。グループ内に蓄積された素材加工から完成品設計・製造までの技術基盤を活かし、臨床ニーズに対応した製品群の構築を進めます。

4. 朝日インテックグループにおける位置付け

朝日インテックは、新中期経営計画「Building the Future 2030」において、従来のガイドワイヤーやカテーテル等のアクセスデバイスに加え、高付加価値治療デバイスへの進出を掲げています。本製品は、この戦略を具体化する製品の一つであり、朝日インテックグループが不整脈およびリード抜去治療領域へ事業を拡張する第一歩となります。

リード抜去デバイスの市場は、冠動脈や末梢血管向けデバイス等と比較すると規模が限定的である一方、専門性が高く、臨床現場の細かなニーズに応える技術力と継続的な製品開発が競争力を左右する領域です。朝日インテックグループは、このような市場特性が、当社パーパスに掲げる「グローバルニッチトップ企業であり続ける」という方向性と高い親和性を有すると判断し、リード抜去治療領域への参入を決定しました。

朝日インテックのブランド事業が直接展開しない領域については、フィルメックが医療機関、グループ各社および外部企業と協業し、臨床ニーズとグループの技術を結びつけて事業化を推進します。本製品では、フィルメックが製造販売および製品供給を担い、Jセールスが国内の販売ならびに医療現場への適正な情報提供を担います。

5. 国内販売とグローバル展開

国内では、朝日インテックグループの販売基盤と医療現場とのネットワークを有する Jセールスが販売を担当します。海外展開については、各国・地域の薬事要件、市場性および販売体制を精査した上で、朝日インテックグループによる展開に加え、リード抜去領域に知見や販売基盤を有する外部企業との提携も視野に検討します。

6. 今後の展開

朝日インテックグループは、本製品を起点として、リード抜去手技を支援する複数の関連デバイスの研究開発を進め、順次市場投入を目指します。製品ポートフォリオを継続的に拡充し、医療従事者の治療選択肢の拡大と、患者さんに対するより安全で質の高い医療の実現に貢献してまいります。

なお、現時点で想定している初年度売上、および当社連結業績への影響は限定的です。

7. お問い合わせ先

製品・事業に関するお問い合わせ	フィルメック株式会社 第二ソリューション営業グループ TEL：0561-48-8601 E-mail：kazuki.taguchi@filmecc.com
国内販売に関するお問い合わせ	朝日インテック Jセールス株式会社 ビジネスデベロップメントグループ TEL：03-6433-3100 E-mail：takeori.ito@asahi-inteccj.com

広報に関するお問い合わせ

朝日インテック株式会社 社長室広報チーム

TEL : 0561-48-5551 E-mail : public.relations.hp@asahi-intecc.com

【免責事項】

本リリースは、報道関係者、株主・投資家等の皆様への企業情報の提供を目的とするものであり、製品の広告、顧客誘引または医学的助言を目的とするものではありません。製品の使用にあたっては、承認された電子化された添付文書、取扱説明書その他の適正使用情報をご確認ください。また、将来に関する記述は本リリース公表時点の情報に基づくものであり、薬事、保険、市場その他の状況により変更される可能性があります。

以上

